【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成27年10月1日(2015.10.1)

【公表番号】特表2014-529544(P2014-529544A)
【公表日】平成26年11月13日(2014.11.13)
【年通号数】公開・登録公報2014-062
【出願番号】特願2014-527445(P2014-527445)
【国際特許分類】
Ｂ６２Ｄ　55/10　(2006.01)
Ｅ０２Ｆ　9/02　(2006.01)
Ｂ６２Ｄ　55/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６２Ｄ　55/10　Ｂ
Ｅ０２Ｆ　9/02　Ａ
Ｂ６２Ｄ　55/14　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成27年8月14日(2015.8.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
無限軌道車両であって、
ａ）前記無限軌道車両の長手方向に沿って延出するフレームを含むシャシであって、前記フレームが、前記フレームの上に作業機を搭載するための機器搭載領域を含む、シャシと、
ｂ）前記フレームに搭載されたオペレータ・キャビンであって、オペレータが座ることを可能とするための座席領域を含み、前記座席領域が前記無限軌道車両の幅方向に沿った複数のシート位置を画定する、オペレータ・キャビンと、
ｃ）前記フレームに搭載されると共に原動機を含む動力装置と、
ｄ）前記無限軌道車両の牽引のための複数の軌道アセンブリであって、前記軌道アセンブリの第１のものが前記無限軌道車両の第１の横側にあり、前記軌道アセンブリの第２のものが前記無限軌道車両の第２の横側にあり、前記複数の軌道アセンブリの各軌道アセンブリが、前記フレームに搭載されると共に、
ｉ）複数の車輪であって、
－駆動車輪と、
－前記無限軌道車両の前記長手方向に前記駆動車輪から離間した端部車輪と、
－前記駆動車輪と前記端部車輪との間に一列構成で配置された複数の支持車輪と、
を含む、複数の車輪と、
ｉｉ）地面に係合するための前記複数の車輪の回りに配置された無限軌道であって、
Ｉ．前記駆動車輪と前記端部車輪との間で前記支持車輪の上に延出する上部分と、
ＩＩ．前記支持車輪の下に延出する地面係合底部分と、
を含み、前記駆動車輪が前記無限軌道と駆動係合して前記無限軌道に動きを与える、無限軌道と、
を含む、複数の軌道アセンブリと、
を含む、無限軌道車両。

【請求項２】
無限軌道車両であって、
ａ）前記無限軌道車両の長手方向に沿って延出するフレームを含むシャシであって、前記フレームが、前記フレームの上に作業機を搭載するための機器搭載領域を含む、シャシと、
ｂ）前記フレームに搭載されたオペレータ・キャビンであって、前記オペレータ・キャビンが、前記オペレータが座ることを可能とするための第１のシートと、前記無限軌道車両の幅方向で前記オペレータの隣に人物が座ることを可能とするための第２のシートと、を含む、オペレータ・キャビンと、
ｃ）前記フレームに搭載されると共に原動機を含む動力装置と、
ｄ）前記無限軌道車両の牽引のための複数の軌道アセンブリであって、前記軌道アセンブリの第１のものが前記無限軌道車両の第１の横側にあり、前記軌道アセンブリの第２のものが前記無限軌道車両の第２の横側にあり、前記複数の軌道アセンブリの各軌道アセンブリが、前記フレームに搭載されると共に、
ｉ）複数の車輪であって、
－駆動車輪と、
－前記無限軌道車両の前記長手方向に前記駆動車輪から離間した端部車輪と、
－前記駆動車輪と前記端部車輪との間に一列構成で配置された複数の支持車輪と、
を含む、複数の車輪と、
ｉｉ）地面に係合するための前記複数の車輪の回りに配置された無限軌道であって、
Ｉ．前記駆動車輪と前記端部車輪との間で前記支持車輪の上に延出する上部分と、
ＩＩ．前記支持車輪の下に延出する地面係合底部分と、
を含み、前記駆動車輪が前記無限軌道と駆動係合して前記無限軌道に動きを与える、無限軌道と、
を含む、複数の軌道アセンブリと、
を含む、無限軌道車両。
【請求項３】
無限軌道車両であって、
ａ）前記無限軌道車両の長手方向に沿って延出するフレームを含むシャシであって、前記フレームが、前記フレームの上に作業機を搭載するための機器搭載領域を含む、シャシと、
ｂ）前記フレームに搭載されたオペレータ・キャビンであって、
ｉ）オペレータが座ることを可能とするための座席領域と、
ｉｉ）前記オペレータが前記無限軌道車両を制御することを可能とするためのユーザ・インタフェースであって、前記無限軌道車両の速度を制御するためのアクセルと前記無限軌道車両を操縦するためのステアリング・デバイスとを含む、ユーザ・インタフェースと、
を含み、
－前記オペレータが前記無限軌道車両の幅方向に沿った前記座席領域の第１のシート位置に座ると共に前記ステアリング・デバイスが前記無限軌道車両の前記幅方向に沿った第１のステアリング・デバイス位置にある第１のキャビン構成と、
－前記オペレータが前記無限軌道車両の前記幅方向に沿った前記座席領域の第２のシート位置に座ると共に前記ステアリング・デバイスが前記無限軌道車両の前記幅方向に沿った第２のステアリング・デバイス位置にある第２のキャビン構成と、
を含む複数のキャビン構成に構成可能である、オペレータ・キャビンと、
ｃ）前記フレームに搭載されると共に原動機を含む動力装置と、
ｄ）前記無限軌道車両の牽引のための複数の軌道アセンブリであって、前記軌道アセンブリの第１のものが前記無限軌道車両の第１の横側にあり、前記軌道アセンブリの第２のものが前記無限軌道車両の第２の横側にあり、前記複数の軌道アセンブリの各軌道アセンブリが、前記フレームに搭載されると共に、

ｉ）複数の車輪であって、
－駆動車輪と、
－前記無限軌道車両の前記長手方向に前記駆動車輪から離間した端部車輪と、
－前記駆動車輪と前記端部車輪との間に一列構成で配置された複数の支持車輪と、
を含む、複数の車輪と、
ｉｉ）地面に係合するための前記複数の車輪の回りに配置された無限軌道であって、
Ｉ．前記駆動車輪と前記端部車輪との間で前記支持車輪の上に延出する上部分と、
ＩＩ．前記支持車輪の下に延出する地面係合底部分と、
を含み、前記駆動車輪が前記無限軌道と駆動係合して前記無限軌道に動きを与える、無限軌道と、
を含む、複数の軌道アセンブリと、
を含む、無限軌道車両。
【請求項４】
無限軌道車両であって、
ａ）前記無限軌道車両の長手方向に沿って延出するフレームを含むシャシであって、前記フレームが前記無限軌道車両の幅方向に離間した１対のサイド・レールを含み、前記サイド・レールが前記無限軌道車両によって運搬される作業機を前記サイド・レールに搭載するためのものであり、前記無限軌道車両の前記幅方向における前記サイド・レールの間隔が標準トラック・フレーム・サイド・レール間隔に相当する、シャシと、
ｂ）前記フレームに搭載されたオペレータ・キャビンと、
ｃ）前記フレームに搭載されると共に原動機を含む動力装置と、
ｄ）前記無限軌道車両の牽引のための複数の軌道アセンブリであって、前記軌道アセンブリの第１のものが前記無限軌道車両の第１の横側にあり、前記軌道アセンブリの第２のものが前記無限軌道車両の第２の横側にあり、前記複数の軌道アセンブリの各軌道アセンブリが、前記フレームに搭載されると共に、
ｉ）複数の車輪であって、
－駆動車輪と、
－前記無限軌道車両の前記長手方向に前記駆動車輪から離間した端部車輪と、
－前記駆動車輪と前記端部車輪との間に一列構成で配置された複数の支持車輪と、
を含む、複数の車輪と、
ｉｉ）地面に係合するための前記複数の車輪の回りに配置された無限軌道であって、
Ｉ．前記駆動車輪と前記端部車輪との間で前記支持車輪の上に延出する上部分と、
ＩＩ．前記支持車輪の下に延出する地面係合底部分と、
を含み、前記駆動車輪が前記無限軌道と駆動係合して前記無限軌道に動きを与える、無限軌道と、
を含む、複数の軌道アセンブリと、
を含む、無限軌道車両。
【請求項５】
前記標準トラック・フレーム・サイド・レール間隔が３４インチであるので、前記無限軌道車両の前記幅方向における前記サイド・レールの前記間隔が３４インチである、請求項４に記載の無限軌道車両。
【請求項６】
前記フレームが、（ｉ）前記１対のサイド・レールを含む上部フレーム構造と、（ｉｉ）前記上部フレーム構造の下にある下部フレーム構造と、を含み、前記フレームが前記上部フレーム構造と前記下部フレーム構造との間に垂直ギャップを画定する、請求項４に記載の無限軌道車両。
【請求項７】
前記軌道アセンブリが、前記フレームに固着されると共に前記無限軌道車両の前記長手方向に離間した複数の車輪搭載構造を含み、前記複数の車輪搭載構造の各車輪搭載構造が前記軌道アセンブリの前記複数の車輪の少なくとも１つを支持し、前記車輪搭載構造が（

ｉ）前記サイド・レールの所与の１つ及び（ｉｉ）前記下部フレーム構造の双方に固着される、請求項６に記載の無限軌道車両。
【請求項８】
前記下部フレーム構造が前記上部フレーム構造よりも剛性が高い、請求項６に記載の無限軌道車両。
【請求項９】
前記垂直ギャップの高さが前記無限軌道車両の高さ方向において少なくとも０．５インチである、請求項６に記載の無限軌道車両。
【請求項１０】
前記垂直ギャップの前記高さが少なくとも１インチである、請求項９に記載の無限軌道車両。
【請求項１１】
前記垂直ギャップによって、前記作業機を前記サイド・レールに取り付けるための取り付けねじ棒アセンブリの設置が容易になる、請求項６に記載の無限軌道車両。
【請求項１２】
前記下部フレーム構造が前記無限軌道車両の前記幅方向に離間した１対の中空ビームを含む、請求項６に記載の無限軌道車両。
【請求項１３】
前記１対のサイド・レールの各サイド・レールがＣ形チャネルを含む、請求項４に記載の無限軌道車両。
【請求項１４】
前記フレームが、前記無限軌道車両の前記長手方向を横断するように延出すると共に前記サイド・レールを相互接続する複数のクロスメンバを含む、請求項４に記載の無限軌道車両。
【請求項１５】
前記動力装置の少なくとも一部が前記フレームの上及び前記オペレータ・キャビンの後方に搭載されている、請求項４に記載の無限軌道車両。
【請求項１６】
前記原動機が前記フレームの上及び前記オペレータ・キャビンの後方に搭載されている、請求項１５に記載の無限軌道車両。
【請求項１７】
前記動力装置が、前記原動機に接続されると共に前記フレームの上及び前記オペレータ・キャビンの後方に搭載された液圧ポンプを含む、請求項１６に記載の無限軌道車両。
【請求項１８】
前記動力装置が前記原動機及び前記液圧ポンプを収容する筐体を含み、前記筐体、前記原動機、及び前記液圧ポンプが、ユニットとして前記フレーム上に設置可能であると共に前記フレームから取り外し可能である、請求項１７に記載の無限軌道車両。
【請求項１９】
前記動力装置の少なくとも一部が前記フレームの上及び前記オペレータ・キャビンの横側に搭載されている、請求項１５に記載の無限軌道車両。
【請求項２０】
前記オペレータ・キャビンが、オペレータが座ることを可能とするための座席領域を含み、前記座席領域が前記無限軌道車両の幅方向に沿った複数のシート位置を画定する、請求項４に記載の無限軌道車両。
【請求項２１】
前記オペレータ・キャビンが、前記オペレータのための前記シート位置の第１のものにおける第１のシートと、前記オペレータの隣に座る人物のための前記シート位置の第２のものにおける第２のシートと、を含む、請求項２０に記載の無限軌道車両。
【請求項２２】
前記端部車輪が後輪であり、前記後輪及び前記支持車輪の最も後方のものが前記無限軌

道車両の前記長手方向において重なっている、請求項４に記載の無限軌道車両。
【請求項２３】
前記複数の支持車輪の各支持車輪が前記軌道アセンブリの高さの大部分を占める、請求項４に記載の無限軌道車両。
【請求項２４】
前記無限軌道車両が、少なくとも５ｍの長さ、少なくとも２ｍの幅、及び４ｍ以下の高さを有する、請求項４に記載の無限軌道車両。
【請求項２５】
前記無限軌道車両が少なくとも１００００ｌｂｓの有料荷重を有する、請求項４に記載の無限軌道車両。
【請求項２６】
無限軌道車両であって、
ａ）前記無限軌道車両の長手方向に沿って延出するフレームを含むシャシであって、前記フレームが前記無限軌道車両の幅方向に離間した１対の細長構造部材を含み、前記細長構造部材が前記無限軌道車両によって運搬される作業機を前記細長構造部材に搭載するためのものであり、前記無限軌道車両の前記幅方向における前記細長構造部材の間隔が３４インチ以下である、シャシと、
ｂ）前記フレームに搭載されたオペレータ・キャビンと、
ｃ）前記フレームに搭載されると共に原動機を含む動力装置と、
ｄ）前記無限軌道車両の牽引のための複数の軌道アセンブリであって、前記軌道アセンブリの第１のものが前記無限軌道車両の第１の横側にあり、前記軌道アセンブリの第２のものが前記無限軌道車両の第２の横側にあり、前記複数の軌道アセンブリの各軌道アセンブリが、前記フレームに搭載されると共に、
ｉ）複数の車輪であって、
－駆動車輪と、
－前記無限軌道車両の前記長手方向に前記駆動車輪から離間した端部車輪と、
－前記駆動車輪と前記端部車輪との間に一列構成で配置された複数の支持車輪と、
を含む、複数の車輪と、
ｉｉ）地面に係合するための前記複数の車輪の回りに配置された無限軌道であって、
Ｉ．前記駆動車輪と前記端部車輪との間で前記支持車輪の上に延出する上部分と、
ＩＩ．前記支持車輪の下に延出する地面係合底部分と、
を含み、前記駆動車輪が前記無限軌道と駆動係合して前記無限軌道に動きを与える、無限軌道と、
を含む、複数の軌道アセンブリと、
を含む、無限軌道車両。
【請求項２７】
無限軌道車両であって、
ａ）前記無限軌道車両の長手方向に沿って延出するフレームを含むシャシであって、前記フレームが、
ｉ）前記無限軌道車両の幅方向に離間した１対のサイド・レールであって、前記無限軌道車両によって運搬される作業機を前記サイド・レールに搭載するための１対のサイド・レールを含む上部フレーム構造と、
ｉｉ）前記上部フレーム構造の下にある下部フレーム構造と、
を含み、前記フレームが前記上部フレーム構造と前記下部フレーム構造との間に垂直ギャップを画定する、シャシと、
ｂ）前記フレームに搭載されたオペレータ・キャビンと、
ｃ）前記フレームに搭載されると共に原動機を含む動力装置と、
ｄ）前記無限軌道車両の牽引のための複数の軌道アセンブリであって、前記軌道アセンブリの第１のものが前記無限軌道車両の第１の横側にあり、前記軌道アセンブリの第２のものが前記無限軌道車両の第２の横側にあり、前記複数の軌道アセンブリの各軌道アセン

ブリが、前記フレームに搭載されると共に、
ｉ）複数の車輪であって、
－駆動車輪と、
－前記無限軌道車両の前記長手方向に前記駆動車輪から離間した端部車輪と、
－前記駆動車輪と前記端部車輪との間に一列構成で配置された複数の支持車輪と、
を含む、複数の車輪と、
ｉｉ）地面に係合するための前記複数の車輪の回りに配置された無限軌道であって、
Ｉ．前記駆動車輪と前記端部車輪との間で前記支持車輪の上に延出する上部分と、
ＩＩ．前記支持車輪の下に延出する地面係合底部分と、
を含み、前記駆動車輪が前記無限軌道と駆動係合して前記無限軌道に動きを与える、無限軌道と、
を含む、複数の軌道アセンブリと、
を含む、無限軌道車両。